

イノベーションのデザイン、課題の調査分析： メモアプリを手元に



メモアプリのおすすめ

手書き：文字認識せずに、インクを残すもの

- 文字認識して文字コードにするものだと、候補から選ぶなどの編集がまどろっこしく、素早くメモする目的に合わない。

音声：音声記録ではなく、音声認識してテキストで残すもの

- メモが複数ある時、視認できないと検索できない

	手書きインクメモ	音声認識テキストメモ
利点	<ul style="list-style-type: none"> • ほかに人に見えないので、プライバシーが守れる。 • 戸外で使っても、恥ずかしくない。 • 光やノイズなど環境の影響を受けない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 素早く（手書きの5倍速い）、アイデアの全体を文で記録できる。そのため、誤認識結果が混ざっても文の一部なので思い出しやすい。
欠点	<ul style="list-style-type: none"> • 急ぎの手書きは、字が汚い。また、インクは領域を結構とるので、単語程度しかメモできない。それらのため、後で読むと思い出せないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 人に聞かれるので、プライバシーがない。 • 日本では戸外で使うと奇妙にみられる。 • ノイズが多いところでは、認識結果が悪い。
応用	買い物リストとか、日常のちょっとしたことをメモする。	後でしっかりした文に編集したいものを、思いついたときにメモする。

おすすめアプリ

	手書きインクメモ	音声認識テキストメモ
iPhone	<ul style="list-style-type: none">• Tadaishi Atojiさんの「アイデアメモ」• Apple社の「メモ」	<ul style="list-style-type: none">• Apple社の「メモ」（ソフトキーボードのマイクアイコンを使う）
Android	<ul style="list-style-type: none">• Alone Soft社の「手書きメモ帳」	<ul style="list-style-type: none">• Google Keep：マイクアイコン• Googleドキュメント：ツール>音声入力